



刈谷の ★輝く人



刈谷ですてきな活動をしている人を紹介します！



▲ジャベリックスローで使用するターボジャブを持つ平野さん

第24回全国障害者スポーツ大会 陸上競技 ジャベリックスロー1位、100m3位

ひらの あゆみ
平野 歩実 さん

プロフィール

刈谷特別支援学校高等部3年。好きな言葉は「可能性は無限」。自分を信じて失敗を恐れず、感謝の気持ちをもち続けることを大切にしている。



試行錯誤しながら見つけた工夫

「個人競技だから、自分が練習した分だけ結果がついてくることが楽しい」と陸上の楽しさを話すのは、全国障害者スポーツ大会で入賞を果たした平野さん。中学校の体育大会でジャベリックスローと100mに出会いました。高等部1年の秋に全国障害者スポーツ大会に出場した先輩の姿を見て、高等部2年の4月から本格的に競技を開始。「ジャベリックスローは、週2回の部活で練習を重ね、どの位置でターボジャブを離すと距離が伸びるのかを試した結果、高い位置から離すことを意識して投げている。100mは、毎朝校舎の1階から2階へ上がるスロープで練習し、限られた可動域の中で少しでも早く進むにはどうしたらいいかを考えて、車いすの車輪の前の方を持ってピッチを上げている」と、試行錯誤して見つけた工夫を生かして競技に取り組みます。

全国大会に出場してついた自信

「代表選手に選ばれなかったとしても、自己ベストを出したい」という思いで臨んだ県の派遣選手選考会。「記録の測定は1回のみで緊張したけど、家族や親戚、友人など、多くの人の応援を背に頑張った」と振り返ります。全国大会への出場が決まり「練習を支えてくれた先生への感謝の気持ちと、全国大会で自分の力を出し切りたいという思いが強くなった」と話します。

直前の部活では目標の3mに届かず、不安もある中で迎えた全国大会。県代表であるという誇りを胸に、全力を出そうと気持ちを切り替えて競技に臨み、ジャベリックスローでは3m81cmを記録し1位、100mも3位に入賞しました。「自己ベストを出して、家族や先生に良い報告ができてうれしかった。努力してきたことが実を結び、自信になった」と頬を緩めます。

いろいろなことにチャレンジしたい

4月から社会人になる平野さん。「仕事が落ち着いたら予選会に出て、自己ベストを伸ばしたい。そのためにもトレーニングやリハビリなどを自主的にやっていきたい」と話します。また、「友達との旅行などいろいろなことを経験したり、社会の中でバリアフリーになっていないところを発信して改善したりしていきたい」と意気込みます。

陸上を通して身につけた自信を糧に、これからも大きく成長しようとする平野さんの挑戦は続きます。

★輝く人の原動力！

いつも支えてくれる家族

反抗してしまうこともあるけれど、いつも近くでサポートしてくれる家族には感謝の気持ちでいっぱいです。



ひかりの家

2歳から通い始め、高等部1年からは夏休み中の保育などのボランティアにも参加し、自分を成長させてくれた場所です。

